

令和 8 年度「要望研究テーマ」の紹介

新潟市や新潟市医師会がどのような研究成果を特に必要としているかを「要望研究テーマ」として紹介しています。令和 8 年度は、下記のテーマとその必要理由を紹介します。

申請に際しては、同じ研究テーマ名にする必要はなく、適宜変更してください。紹介理由と異なる視点での研究計画を立案していただいても結構です。また、「要望研究テーマ」以外の、研究者自身の自由な発想での研究の助成申請も受け付けます。審査に際しても、「要望研究テーマ」と従来通りの「自由発想研究テーマ」は、同等に扱われます。

1. 医療 DX の現状と課題解決に向けた研究

政府は、2030 年までに全医療機関で電子カルテ導入と情報のデジタル化を目指しています。オンライン資格確認やマイナ保険証、電子処方箋も進んでいますが、導入の遅れやシステム格差、業務負担の増加など課題も多く残されています。本テーマでは、医療 DX の実装に伴う課題の解決、地域医療との連携、データ活用の推進などに関する実践的な研究を幅広く募集します。

2. より緊密な医療連携に関する研究

高齢者の激増に伴い、多種多様な併存症を一つの医療機関で完結するのは困難で、多くの医療機関への通院も増え続けています。今後、医療従事者がさらに減少していく中で、限られた医療資源の有効な活用や持続可能な医療システムの構築等、無駄のない、より緊密な連携が必要となってきました。これらの課題を解決するための研究を広く募集します。

3. 災害医療に関する研究

能登半島地震で経験した自然災害、医療機関を狙ったサイバー攻撃のような人為的災害など、我々は常にさまざまな災害のリスクにさらされています。こうした大規模災害の発生に備え、地域医療体制の整備、医療資源の管理、被災者の支援など、災害医療全般の課題解決に向けた研究を広く募集します。